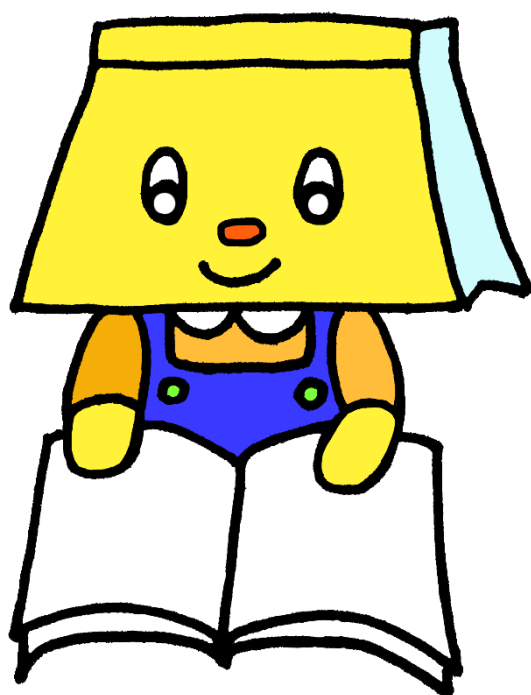


令和 7 年度（2025 年度）実績報告

図書館年報



令和 8 年 5 月

大台町立図書館

目 次

はじめに

1. 図書館の基本的なサービス 4

資料の公開・貸出 4

窓 口 8

館内サービス 10

Web サービス 11

2. 事業・活動報告 12

来館者事業 12

非来館者事業 27

移動図書館 30

他機関連携事業 34

広報活動 36

施設支援事業 38

その他 39

3. 状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

資料所蔵状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

利用者状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

年齢別地区別個人の実利用者数・・・・・・・・・・ 44

年度別年齢別個人の実利用者数・・・・・・・・・・ 45

貸出状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

公民館図書室利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

4. 経費・サービス指数・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

令和7年度資料費・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

サービス指数・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

5. 課題と対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

前年度に挙げた課題と対策・・・・・・・・・・ 50

令和8年度に向けての課題と対策・・・・・・・・ 53

はじめに

図書館は自ら学ぶという姿勢を支え、生活の質を向上させることができる場所です。しかしながら、上手に図書館を活用するためには、図書館が提供しているサービスを把握している必要があります。この年報では、図書館サービスをより多くの方に知ってもらうために、基本的なサービスをまとめています。

1. 図書館の基本的なサービス

【資料の公開・貸出】

図書館は自ら作成した収集方針に従って資料選択および収集を行う機関です。その収集する媒体は、紙、音声、映像、電子書籍など様々です。どんな資料を集めるか、自由に手に取って見ることができるか（開架式）、館外への持ち出しができるか（貸出可）は、それぞれの運営する館によりルールは違います。当館では、今は主に紙媒体での資料収集を行い、開架、貸出可（一部禁帯出あり）というルールで運営しています。また選書は、リクエストやレファレンスを参考に町民のニーズに対応するとともに、今後必要とされる可能性が高い内容の資料も司書が検討し収集しています。

◆収集資料の種類

新聞 朝日新聞、中日新聞、読売新聞、夕刊三重、伊勢新聞（令和7年度より新規購読）

雑誌 暮らしの手帖、すてきにハンドメイド、趣味の園芸、きょうの料理、
きょうの健康、オレンジページ、歴史人、日経 PC21、AERA、
週刊ベースボール、週刊新潮、SCREEN、子供の科学、婦人画報、
Newton、non-no、クーヨン、ことりっぷ（令和7年度より新規購読）

図書 単行本、絵本、大型絵本、大活字本、ムック本、文庫本、紙芝居、
郷土資料の小冊子・パンフレット・リーフレット

視聴覚資料

DVD（行事利用を優先するため、現在上映可かつ館内視聴可の資料のみ収集）

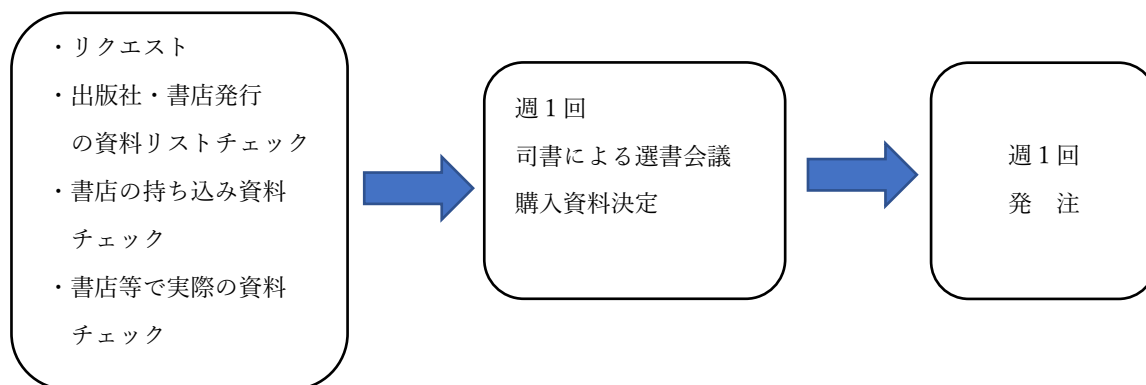
◆選書から排架まで（図書）

資料選びから棚に並ぶまでには、一定の時間がかかります。資料到着後も、司書による資料チェックを行います。新刊として発売されて間もない資料は、書店等での現物確認をする機会はほとんどなく、カタログやインターネットなどで確認できる情報にたよって選書しています。実際に目にするのは、選んだ資料が届いたときということがほとんどです。そのため選んだ資料が、どのようなレファレンスに対応できるか、この図書館では、司書が簡単に把握するための時間（約 1 週間）を設けています。検索データだけでは対応しきれないレファレンス時に、このような日々の資料の目視が欠かせません。発行後かなりの時間が経過した資料については、必要であれば他の図書館から資料を借り受け、目視で内容を確認した上で購入決定する場合もあります。

① 選書（第一段階 情報収集）

② 選書（第二段階 絞り込み）

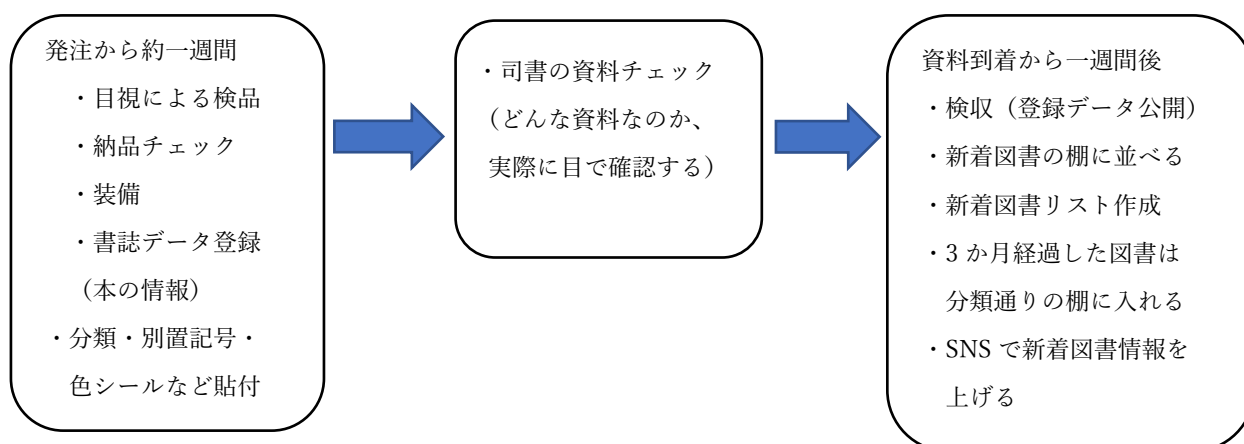
③ 発注



④ 資料が届く・データ登録

⑤ 資料チェック

⑥ 書架に並べる



雑誌は、受入処理が済み次第、速やかに棚に並べています。新聞は、受入処理はありません。最新号や最新刊の貸出や複写はできません。

◆寄贈

「家を整理していて、もったいないので本を図書館に寄贈したいのですが」という問い合わせがよくあります。残念ながら、図書館の規模はすでに収納できる容量をはるかに超えており、毎年図書館で購入した資料を廃棄しつづけなくてはならない状態です。そのため、現在では、基本的には寄贈の受付はお断りしています。なお、未所蔵の郷土資料（大台町、周辺地域に関係のある資料）で、長期の保存に耐えうる資料であれば受入を行うこともあります。また、出版社や個人から新しい本の寄贈を受けることがあります。こちらについても、選書会議で司書が必要と判断した資料のみ受入します。

◆資料の抜き出しから廃棄まで

資料を収集し続ければ、どんな図書館でもいずれは書架が一杯になります。書庫がある場合は、ある一定時間が経過した資料はそこに収められます。しかしながら、この図書館には書庫はなく、他の図書館のように資料の保管機能を持つことはできません。そこで資料を廃棄するための基準を設けています。ただし、現在では廃棄対象年数を迎えても、資料的価値が高く利用が見込まれると判断したものは、図書館もしくは公民館図書室等に置いています。今年度は、荻原出張所の1室を図書館業務用に確保することができました。そこを暫定的に書庫として使用しています。

① 廃棄対象本抜き出し

図書館、公民館図書室の資料で、廃棄対象の候補となる本を抜き出す

② データ確認

利用頻度、他の図書館の所蔵状況を確認

③ 司書チェック

司書による資料チェック
必要な資料は、棚に戻すか
公民館または書庫に場所を変更する

④ 廃棄決定

・廃棄登録
・廃棄資料一覧作成
・館長に提出
差し戻しがあればこの段階で資料の
廃棄登録を取り消し、復活させる

⑤ リサイクルフェアで廃棄資料公開

「廃棄図書」シールをバーコード
に貼り、リサイクルフェアに出す

●廃棄対象（図書資料）●

- ・受入よりおおむね 8 年以上経過したもの
- ・汚れ・破損が著しいもの
- ・時代的役割を終えたもの
- ・新しく版が出版されたもの
- ・百科事典で 10 年以上経過したもの
- ・法・税の説明で 5 年以前のもの
- ・スポーツ等でルールが変わったもの
- ・類似本が出版されて、資料的価値がなくなったもの
- ・館長が不要と認めたもの

雑誌は 2 年、新聞は 3 か月を保管期間としています。現在は、保管期間終了後、利用頻度の高い雑誌のみ 2 年間公民館で利用できるようにしています。

【窓口】

◆図書利用者カードの発行

資料の貸出を希望する場合に利用者の登録を行い、「図書利用者カード」を発行しています。利用対象者は、大台町に在住・在勤・在学の方、大紀町在住の方、その他館長が認めた方となっています。年齢制限、利用期限ともにありません。

◆Web 用ログインパスワードの発行

希望者には Web ログイン用のパスワードを発行しています。

◆貸出返却の受付（貸出規則等については年報裏面に記載）

貸出と返却の受付をしています。

◆予約の受付

利用したい資料が貸出中の場合、予約をすることができ、窓口で受付をしています。

◆リクエストの受付

図書館の蔵書にない資料は、購入依頼（リクエスト）を行うことができます。

◆相互貸借の受付

図書館の蔵書にない資料は、相互貸借を行っている県内・愛知県・岐阜県・富山県の図書館であれば無料で資料を借りることができます。

予約・リクエスト・相互貸借申込書は同じ用紙ですが、一冊につき一枚ずつ記入が必要です。



予約・リクエスト・相互貸借 申込書

◆レファレンス

資料についての相談を受付けています。

- ・大台町立図書館の所蔵、場所確認
- ・他の図書館所蔵確認
- ・調べものの相談（知りたい事柄を何で調べたらよいかの相談）

レファレンスと言ってもその難易度は様々です。所蔵確認というすぐに回答できるものから、知りたい内容を詳しく聞く必要があるもの、調査に時間がかかるものなどもあります。回答方法は、資料の提供のみにとどまらず、インターネットも活用し、集める情報を収集します。

◆資料の複写受付

著作権法で認められている範囲内で図書館資料の複写ができます。

受付は窓口で行い、1枚10円で職員が複写を行います。

◆館内設備利用受付

個別学習コーナー、多目的ルーム、検索用パソコンの利用申請を受付しています。

【館内サービス】

◆検索用パソコン

1階には、インターネットが使えるパソコンが1台あります。検索の補助として、誰でも利用できますが、個人の文書やデータ作成、メール送信等には利用できません。

◆館内蔵書検索機（OPAC）

館内にある蔵書を検索することができます。2022年3月からは、検索した資料のデータをレシートで印刷することができるようになりました。さらにログインボタンを追加し、利用者個人のページをこの検索機から見るできるようになりました。

◆貸出資料のシール印刷

館内蔵書検索機でログインすると貸出中の資料を1冊ずつシールにすることができます。読書手帳等に添付し、個人の貸出記録や読書記録をつけることができます。

◆個別学習コーナー

個人で使う学習専用スペースです。席の指定番号があり、窓口で利用申請後、誰でも使うことができます。



個別学習コーナーの様子

◆多目的ルーム

行事が開催される部屋です。行事がない場合は、次の用途で事前に利用申請すると使うことができます。

学習グループ利用 1～数人の少人数での利用

貸 切 利 用 利用条件を満たした団体（自主グループ、非営利団体など）の
講座や講習会、5名以上で利用の学習会や会議

ギャラリー使用 貸切にせず、壁面での展示

ラ ン チ タ イ ム 12:00～13:00 のみ食事可

◆Wi-Fi

館内で Wi-Fi が利用でき、持ち込みのインターネット通信機器が使えます。

【Web サービス】

大台町立図書館には、インターネット上で図書館情報を確認できるホームページがあります。また、X と Instagram でも図書館の日々の情報を発信しています。

◆ホームページ

開館日、行事予定、図書館からのお知らせなどが確認できます。
また、ダウンロード用の読書手帳のデータもあります。

◆蔵書検索（OPAC）

図書館に所蔵している資料の検索を行うことができます。

◆ログイン後にできること

- ・利用状況参照

返却予定日などが確認できます。期限延長も1回に限り行うことができます。

- ・予約

本を10冊まで予約することができます。

- ・新着案内配信サービス

ご自身の興味、関心があるテーマを登録すると、登録されたテーマに関する新着資料があった場合、新着情報がメールで配信される設定にすることができます。

- ・ユーザ設定

パスワードの変更やメールアドレスの登録を行うことができます。メールアドレスを登録すると、予約した資料の確認や取り置きのお知らせ、新着案内サービスのお知らせがメールで受け取れます。

◆X と Instagram

天候などによる急な臨時休館のお知らせや、個別学習コーナーや多目的ルームの利用状況など、いち早く伝達が必要な情報を発信しています。他にも、おすすめ本の紹介や図書館の日々の出来事なども紹介しています。

ホームページ

<http://www.ma.mctv.ne.jp/~odai-to/>



X

@odai_to810



Instagram

@odai_to810



2. 事業・活動報告

【来館者事業】

本を貸し出すことだけが図書館の役割ではありません。自主的学習や体験のできる場所でもあります。読書をする楽しさを知ってもらえるような企画に取り組んでいます。

◆読書手帳

読書手帳とは、本の記録をつけるための手帳です。読んだ感想を残すことで、読書習慣に繋がりがやすく、読書したという達成感を感じることができます。

また図書館では個人情報の保護という観点から、返却した本の記録は残さない仕組みとなっています。読書手帳を使うことで、自身で借りた本の記録として残すことができます。

2022年2月に図書館のシステムを更新しました。これを機に、館内に設置されている館内蔵書検索機（OPAC）から、利用者がログインを行うと貸出中の本の題名等をシールとして印刷できる機能を追加しました。このサービスの周知と普及を兼ねて、オリジナル読書手帳を求めに応じて配布しています。シールを貼る以外にも、直接手書きで記録ができる仕様になっており、ホームページからデータをダウンロードするとご家庭でも作ることができます。



窓口横の棚にあります。

◆定期行事

毎月定期的に開催している行事です。

●ばぶばぶおはなしかい

2022 年度 9 月から開始したおはなしかいです。乳幼児（9 ヶ月～2 歳児）とその保護者を対象として開催しました。0～2 歳は月齢による差が大きいいため、どの年齢にも合わせられるよう読む本を複数用意しています。この年齢は本を読むだけでなく親子でのスキンシップも重要であることから、一家族に対していかに寄り添えるか、という点も大事にしています。昨年度よりも参加者は少なく、しばらく参加者 0 人という月が続きましたが、そんな日は職員相手に模擬練習をしました。改善策として前日に SNS で開催を予告するようにしたところ「SNS をみてきた」という人がおり、少しずつですが、参加者が増えました。

開催日	0 歳	1 歳	2 歳	他	保護者	歌遊び	本
4/19	0	0	0	0	0	おはなし、いっぽんぼしこ ちょこちょ	『ごぶごぶごぶ』駒形克己／さく 福音館書店 他3冊
5/17	0	0	0	0	0	おはなし、いっぽんぼしこ ちょこちょ	『ぶーぶーぶー』こかぜさち／ぶん わきさかかつ じ／え 福音館書店 他4冊
6/21	0	0	0	0	0	おはなし、いっぽんぼしこ ちょこちょ	『どーこだどこだ』カズコ G、ストーン／さく 童心社 他4冊
7/19	0	0	0	0	0	おはなし、いっぽんぼしこ ちょこちょ	『いるいるだあれ』岩合日出子／ぶん 岩合光昭／ しゃん 福音館書店 他4冊
8/16	0	0	0	0	0	おはなし、いっぽんぼしこ ちょこちょ	『コロちゃんのおさんぽ』エリック・ヒル／作 評 論社 他4冊
9/20	0	0	1		1	おはなし、かれっこやいて	『くつくつあるけ』林明子／さく 福音館書店 他 2冊
10/18	0	0	0	0	0	ひげじいさん、にんどころ	『みんなだね』まついのりこ／作・絵 偕成社 他 3冊
11/15	0	1	0	0	1	ちょちちょあわわ、げんこ つやまのたぬきさん	『もこもこもこ』谷川俊太郎／作 元永定正／絵 文研出版 他4冊
12/20	1	1	0	1	1	おはなし	『ころころころ』元永定正／さく・え 福音館書店 他2冊
1/17	0	1	0	0	1	おはなし、うまはとしとし	『だるまさんが』かがくいひろし／さく ブロンズ 新社 他3冊
2/21	0	1	0	2	1	おはなし、かれっこやいて	『びょーん』まつおかたつひで／作・絵 ポプラ社 他8冊
3/21	0	0	0	0	0	おはなし、にんどころ	『ももも』川之上英子／さく・え 川之上健／さ く・え 岩崎書店 他3冊
合計（人）	1	4	1	3	5		



●ぴよぴよおはなし会

毎月第3木曜日に司書が行う読み聞かせの会です。毎月テーマを決め、読み聞かせや遊びを行います。未就学児を主な対象としていますが、未就園児や小学生も参加しています。

今年度は、全体的に参加者が少ない1年となりました。年度初めの4・5月は、毎年参加者が特に少ない傾向にあり、今年度の5月は参加者がいませんでした。よく来ていた子どもたちの進級に伴う減少に加え、気候も良く、保育園に慣れたところで園庭遊びが楽しい時期であることが大きい理由となっています。新規の参加者を増やすために、図書館ではおはなし会があることを定期的にしっかりと告知する必要があると思いました。



8月 紙芝居をみているところ



10月 ハロウィンスペシャル
スプーンレース中

開催日	テーマ	読んだ本・紙芝居	遊び	参加人数		
				子ども	保護者	計(人)
4/17	きょうりゅう	『おまえうまそうだな』 宮西達也/作・絵 ポプラ社	たまごづくり(色塗り)	1	1	2
5/15	のりもの	【開催なし】出席者なしのため未開催		0	0	0
6/19	あめ	大型本『ちいさなきいろいかさ』 にしまたかや/イラスト もりひさし/シナリオ 金の星社 他3冊	かさをつくろう 折り紙(立体のかさ)	5	1	6
7/17	なつ	【開催なし】大雨のため臨時休館		0	0	0
8/21	おばけ	紙芝居『さらやしきのおきく』 桂文我/脚本 久住卓也/絵 童心社 他2冊	おばけづくり (ふくろでつくるおばけ)	7	1	8
9/18	むかしばなし	紙芝居『きんのおのぎんのおの』イソップ/原作 やえがしなおこ/脚本 スズキコージ/絵 童心社 他2冊	あやとり(手品)	7	2	9
10/16	ハロウィン	『No,David!』 David Shanon/作 Blue Sky Press	ゲスト:ALT4名あり 目玉運びスプーンゲーム、ビンゴ	20	8	28
11/20	おしごと	『よるのあいだに…』ボリー・フェイパー/文 ハリエット・ホプディ/絵 中井はるの/訳 BL出版 他2冊	紙ひこうき	9	1	10
12/18	クリスマス	『メリークリスマスおつきさま』アンドレ・ダーハン/作 きたやまようこ/訳 講談社 他2冊	インターンシップ: 昂学園2名あり 折り紙(おきあがりこぼしサンタ)	5	0	5
1/15	せつぶん	紙芝居『おにたとおふく』 野村たかあき/脚本 絵 童心社 他1冊	折り紙(豆入) 遊び(豆まき)	4	0	4
2/19	たべもの (パン)	『からすのぼんやさん』 かこさとし/絵と文 偕成社 他1冊	折り紙(ハンバーガー)	5	0	5
3/19	はる	『だって春だもん』 小寺卓矢/写真・文 アリス館 他2冊	折り紙(たんぼぼ)	4	0	4
計12回				67	14	81

●ぷらっと

気軽に集うことができる場や、新たな図書館での過ごし方を提供するため、普段から図書館を利用しない方でも「ぷらっと」気軽に立ち寄れる場所を作るために開始しました。毎月第2木曜日の14:00～15:30に様々な行事を行っています。

今年度は、初めての試みとなる健康マージャンやデスカフェを開催しました。

健康マージャン体験は、申込み開始即日に満席となるほど人気がありました。普段は参加が少ない男性の方々からも多くの申込みがあり、興味がある内容であれば、男女問わず参加につながることを改めて実感しました。



4月の様子



6月の様子



3月の様子

開催日	テーマ	内容	参加人数(人)
4/10	超入門編！健康マージャン体験	マージャンのルール説明、プレイ	6
5/8	体操×脳トレ	大台町社会福祉協議会より講師に来ていただき、体操や脳トレ	10
6/12	牛乳パックで工作！	牛乳パックでティッシュケース作成	9
7/10	「デスカフェ」開店！	飲食をしながら大台町包括支援センターの職員と一緒に「死」について話し合う	9
	休み	お盆のため休み	0
9/12	「もしも」に備えて	奥伊勢消防署職員を講師に、心肺蘇生法とAEDの使い方を教わる	2
10/9	ことばとあそぶ	司書による朗読、発声練習や音読	3
11/13	図書館でヨガ体験	初心者向けのヨガ体験	7
12/11	ちぎり絵をしよう！	新聞ちぎり絵作成	5
1/8	新春 百人一首大会	小倉百人一首でかるた取り大会	2
2/12	歯と認知症の関係	三重県歯科衛生士会松阪支部より講師に来ていただき、オーラルフレイルや口腔ケアについて講話	7
3/14	文化財修復体験	大台町にある「出張遺跡」の出土品である「礫」の整理を体験	5
計 11回			65

●おはなしプーさん 読み聞かせ会（この部分は代表小野清美様にお願いしました）

毎月第2土曜日 10:30～11:00 の30分間、ボランティアグループおはなしプーさん（以下、プーさん）が読み聞かせ会を開催しています（定例会と呼んでいます）。

3人の当番が季節や行事のお話を中心に、その日訪れた子どもの年齢等を考慮して本を選び読みます。

7月・12月のイベント月には1時間に時間を拡大し、紙芝居や大型絵本、手遊び等も取り入れます。プーさんから手作りのプログラムや心ばかりのプレゼントもあります。

発足して23年目になりました。月によっては読み手の人数より参加者の方が少なくてもいいこともあります。しかし、会員一同めげずに地道に頑張っています。

少子高齢化の波を受け、後継者問題に悩む日本の世相をそのまま縮小したような、プーさんですが、読み聞かせで繋がった会員の結束は固いです。最近は、おはなし会の報告書をデータで送りますが、スマートフォンが苦手な人をフォローしてくれる人や急に仕事が入ってしまった人の代わりを速やかに務めてくれる人、絵本を読むことから引退しても、プログラム作りや棚卸など自分ができることで関わってくれる人たちもいます。

このように、皆がプーさんを大切に思い、団体としてうまく機能するよう心を配り、支えあっています。長い年月の間に素晴らしい会に成長したなと手前味噌ながら思っています。この仲間たちと今後も仲良く、楽しく、長く活動をしていきたいです。そして、絵本の力を信じて、子どもたちに想像する楽しさや知る喜びを伝えていきたいと思っています。



12月 定例会の様子

◆その他の行事

毎年取り組んでいる行事とその年度のみ開催する行事があります。

●移動図書館出展

大台町 B&G 海洋センター「わくわくひろば」オープニングマルシェ

大台町 B&G 海洋センターに大型遊具「わくわくひろば」が完成したことを受け、開催されたオープニングマルシェに移動図書館が出展しました。

イベントへの出展ということもあり、通常より多くの冊数を乗せ運行しました。普段の移動図書館で行っている業務用携帯端末を使用して貸出返却をしました。会場では図書館アンケートを実施し、回答された方へ抽選でブックバッグか栗のプレゼントをしました。また、「びゅんびゅんごま」を作る工作も行いました。

貸出冊数は少なかったものの、新規利用者も増え、保育園から借りた子供用の長椅子で、親子が絵本を読むなど、本に親しむ場として楽しんでもらえました。

また「わくわくひろば」の前で大型絵本の読み聞かせ会を実施しました。外での読み聞かせは、大人から子供まで多くの方に参加いただきました。

日 時 2025 年 4 月 6 日 10：00～14:00

内 容 貸出返却、新規登録、大型絵本読み聞かせ会(13:00～)、びゅんびゅんごま工作、アンケート

利用者数 約 80 名（うち新規登録者 2 名）

読み聞かせ 大型絵本 3 冊

『しりとりのだいすきなおうさま』

中村 翔子//作 はた こうしろう//絵 鈴木出版 他 2 冊



大型絵本読み聞かせ会の様子



出張移動図書館の様子

●科学工作 「水中エレベーターをつくろう！」

小学校では6月にプール水泳が始まります。それに合わせて、浮力と圧力の仕組みを利用した「浮沈子^{ふちんし}」と呼ばれるおもちゃを作る行事を開催しました。

行事の周知には、様々な工夫が必要でした。まず、浮沈子ではなく「水中エレベーター」という名称を使用しました。次に、実物を図書館受付に置きました。チラシには実物の画像を使用しましたが、それだけでは十分に伝わりません。興味関心を持ってくれるようなチラシを作成するために、小学生向けの平易な文章を考えることの難しさを実感しました。

実物を見た利用者は興味を持ってくれましたが、その多くは保育園児や低学年でした。講師と相談の上、理科の学習が始まる3年生からも申し込みを受付することにしました。

講師が事前に何度も来館してくださったので、事前の打ち合わせを十分に行うことができました。また、工作の材料で使用する試験管を、参加人数分提供してくれました。また、当日に知人の方を助手として呼んでくれました。本格的な実験の様子に、参加した子どもだけでなく見学している保護者や職員も夢中で見入っていました。

自然科学の実験をしたくても、館内では火器が使用できません。館内でできる実験で、なお且つ、子どもが興味関心を持つ内容を考えることは、とても難題でした。今回は、講師の厚意に助けられ、無事に行事を終了することができました。行事後に、町内で浮沈子作りに挑戦したという声を、数件聞くことができました。

開催日時 2025 年 6 月 8 日（日） 14：00～15：30

講 師 左近淑人さん

対 象 小学4年生以上 定員 10 名（事前申し込み制）

参加人数 小学生 8 名（3 年生：4 名、4 年生：2 名、5 年生：2 名）

保護者 4 名 園児 1 名 講師の知人 1 名（松阪市教委職員）

内 容 科学工作に関連する浮力と圧力の実験を観察、科学工作（浮沈子）の製作、
関連図書の紹介



講師の説明を見る様子



試験管を使った浮力の観察

●子ども司書体験

図書館の仕事に興味を持ってもらい、図書館に対する理解を深めてもらうことを目的とした行事です。

子ども司書体験

開催日時 2025 年 7 月 25 日（金）9：45～15：00

2025 年 7 月 26 日（土）9：45～15：00

応募人数 各若干名

対 象 大台町・大紀町在住の小学4～6年生

参加人数 25 日 4 名 26 日 2 名

参 加 賞 修了書（賞状）と子ども司書認定証（プラスチックカード）

内 容 図書館業務

（貸出・返却業務、返却図書の配架、本の紹介 POP づくり、
レファレンス体験、本のコーティング体験、本の修理体験）

※レファレンスとは、利用者の調べものの相談です。

本探しや知りたい情報を手に入れる手伝いをします。



2025 年度で 5 回目となる行事です。過去最多の参加人数でしたが、全員で協力して体験項目に挑戦する姿が見られました。他学年・他学校の児童との交流が生まれたことは嬉しく思います。特に好評なレファレンス体験は、体験終了後や後日来館した際などに「あの体験をもっとやりたい」と声が上がりました。また昨年度同様に、参加者に「子ども司書認定証」を発行しました。



本の POP 作り体験の様子



返却本を棚へ戻す様子

●落語で怪談

日本の文化を体験し興味を持ってもらうことや、言葉の楽しみを知りおもしろさに気付いてもらうことを目的に、落語を開催しました。

落語家・桂紋四郎氏にお越しいただき、落語を演じてもらいました。

予定していた参加人数の上限には達しませんでした、今回の参加人数で部屋がいっぱいになるほど、子どもから大人までたくさんの参加がありました。

落語では扇子や手ぬぐいを物に見立てて使うことや、簡単な歴史の説明、客席とのかけあいもあり、たくさん笑ってもらうことができ、満足度の高い行事ができました。

今回、初めて高座を組むこともあり、どのような広さ・高さが必要なかを調べ、当日を迎えました。終演後に演者の方から、「高座の高さや背景がとても良かった」と喜びの声をいただいたのも光栄です。

演者が読書家というのもあり、おすすめの本をいくつか教えていただき、当日展示することもできました。当館が所蔵する落語の本やおすすめ図書をリストにまとめ配布しました。

日 時：2025 年 8 月 24 日(日) 14:00～15:30

会 場：大台町立図書館 2 階 マルチフロア

新聞閲覧コーナー付近を高座、個別学習コーナー付近を客席

多目的ルームを楽屋として使用

参加人数：子ども 10 名 大人 21 名 計 31 名

(事前申込 34 名 キャンセル 1 名 欠席 2 名)

演 者：桂紋四郎 氏

演 目：皿屋敷ほか

当日の様子



口演中



本の展示

●第1回 POP 大賞

自分の好きな本の紹介 POP を作成し、図書館へ提出してもらいました。その後、応募作品を図書館2階多目的ルームで展示し、来館者による投票を実施。気に入った作品に1人1票を投じてもらいました。その中で、得票数が最も多かった作品を「POP大賞」、図書館長が選んだ1作品を「館長賞」、司書5人がそれぞれ選んだ5作品を「司書賞」として表彰しました。また、受賞した8作品と、惜しくも大賞を逃した上位5作品を館内に展示しました。

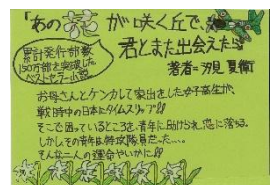
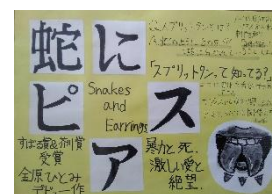
募 集 期 間	2025年9月1日(月)～11月30日(日)
展示・投票期間	2025年12月19日(金)～2026年1月9日(金)
表 彰 式	2026年2月15日(日)
対 象	小学4年生～高校3年生
応 募 規 定	作品サイズはA5～A4で、壁面に貼りつけ可能なもの 題材となる本の図書館所蔵の有無は問わない ただし漫画だけは図書館所蔵本のみ 応募用紙に必要事項を記入し、作品と共に図書館へ提出
賞 品	POP大賞→図書カード1000円分 館長賞→図書カード500円分 司書賞→図書館オリジナルトートバッグ
応 募 総 数	56作品
投 票 総 数	142票
結 果	POP大賞2作品(同率1位、得票数9票) 館長賞1作品 司書賞5作品



展示・投票期間の様子



授賞式の様子



大賞受賞の2作品

●トークイベント 「大台町のイマヒト！」

一人一人の多様な働き方が求められている今、町内で活躍している方を「イマヒト」とお呼びし講師に招き、お話をきく行事「大台町のイマヒト！」は、2023 年度から始め、今年度で3回目の開催となりました。

この行事は、講師の方に事業を始めた動機や実際に感じた苦労、新しい発見などを講話いただき、意見交換をすることで参加者同士の交流の場へと繋がっています。大台町の魅力を知るきっかけにもなりますので、今後も継続したいと考えています。

講話では、洋菓子屋になりたいという幼い頃からの夢を追い続け、高校の製菓コースへ進学、調理部に入り技術を学んだことや、仕入れなどの運営を学ぶため町内外の飲食店で修業を積んできたこと、経験を積みながら空き店舗を探していたところ、空き家バンクの「AWA プロジェクト」を経て店を構えるに至った経緯等をお話いただきました。トーク後にはゲスト講師に関連して洋菓子にまつわる本を紹介しました。

開催日時	2025 年 9 月 28 日（日） 14：00～15：30
ゲスト講師	a bientot 荒木麻衣さん
参加人数	9 名（事前申込 6 名、キャンセル 1 名、当日参加 3 名）
対象	中学生以上
内容	講話、司書も交えた参加者質問コーナー、司書のブックトークなど



講話の様子



本紹介の様子

●雑誌が語る戦時日本（展示企画）

図書館利用者より提供された戦争当時の雑誌を展示し、実際に手に取って見てもらう機会としました。より多くの方に来てもらえるように、例年、多目的ルームで開催する三重県多気郡教職員組合主催による「平和教育展」の日程と合わせて開催しました。

年度当初には計画のなかった企画ですが、利用者から提供された資料を見てみると、展示し見てもらうだけの資料的価値があると思いました。

松阪ケーブルテレビのニュースでも取り上げてもらったため、それを見て来館された方もいらっしゃいました。ミドル～シニア世代の夫婦や家族、個別学習コーナーの利用者である10代の観覧もありました。感想などが書ける「ひとことノート」を置いたところ、何人かが書いてくれました。

また、展示を見に来られた社会福祉協議会の職員の方から、2月に開催される遺族会の時にも見せてあげたいという要望があり、所有者の了承を得て見てもらうことができました。

開催日時 2025年10月19日（日）～11月7日（金）17：00

場 所 図書館2階 新聞コーナー付近



●映画鑑賞会

2020 年度より年に 1 度、上映可能な DVD 資料を購入または、借り受けるなどし、無料で上映しています。終了後は、関連図書の紹介もしています。

今年度は、一般の部の資料を購入し、子どもの部の資料は、三重県視聴覚ライブラリーから、借り受けました。一般の部は、原作本でも人気の高い作品であったため、5 名以上定員を超える参加希望がありました。部屋の関係上、上限を上回ることができなかったため、残念ながら断ることにしました。この反省を踏まえて、翌年度の「ぷらっと」に再度上映の機会を設けることにしました。対照的に子どもの部は、申込数も少なく、家族単位での不参加があったため、結局 1 家族分の参加となりました。上映可能であり、関心の高い作品を探すのも困難なため、次年度以降の子どもの部の開催は検討中です。

開催日時 2025 年 12 月 7 日（日）

子どもの部 10：30～12：15 一般の部 14：15～16：00

定 員 各 15 名程度

対 象	作品名・関連図書紹介	申込者数/ 参加者数
子どもの部 （12 歳以下 保護者同伴可）	●『母をたずねて三千里』高畑勲／監督 上映時間 91 分 ◆関連図書紹介（原作） 『クオレ（少年少女世界文学館 22）』 エドモンド＝デ＝アミーチス／著 矢崎源九郎／訳 講談社 他 6 冊	3 組 7 名申込 /1 組 2 名参加 (2 組 5 名 キャンセル)
一般の部 (中学生以上)	●『九十歳。何がめでたい』前田哲／監督 上映時間 99 分 ◆関連図書紹介（原作） 『九十歳。何がめでたい』 『九十八歳。戦いやまず日は暮れず』 ともに、佐藤愛子／著 小学館 他 6 冊	15 名申込/14 名参加 (1 名 キャンセル)



子どもの部の様子



一般の部の様子

●借りる！図書館福袋

袋に入れ、あえて本がわからない状態で貸出することで、利用者が普段選ばない本と出会う機会にしています。

毎年恒例の図書館福袋ですが、今年度は、開始日を年内に早める、テーマコーナーに並べる、図書館オリジナルのおみくじを同封する、の3点を試みました。

福袋の設営は、12月の図書整理休館日に行います。今年は翌日の26日(金)から開始しました。同日に6セット貸出がありました。「年内に借りることができて良かった」という声も頂きました。

福袋をテーマコーナーに並べることで、対象とテーマを一目で見渡すことができました。また、福袋の袋が、館内の迎春ムードの演出に一役買いました。

職員の遊び心が込められたオリジナルのおみくじは、挟んだまま返却した方もいたようです。直接感想を聞く機会を得ることができなかったのは残念でした。

開始時期が早まったことで、年始早々に貸出終了を迎えることができました。ただ、借りることができずに残念がっている方もいました。また、YAという年代表示は分かりにくいという反省もありました。10代やティーンという表示でもよいかもしれません。

返却された本は、対象年代とテーマを表記した短冊を貼って配架しました。福袋を借りなかった方にも1月のテーマとして楽しんでもらう趣向です。利用者の目に留まり貸出利用につなげることができました。

期 間 2025年12月26日(金)～1月7日(水)6日間で終了

福袋準備数 幼児5セット、小学校低学年2セット、小学校高学年2セット

YA(ヤングアダルト)2セット、一般5セット シニア4セット

計20セット

福袋仕様 中身が見えないように本を包装

借りたい人は、福袋に貼られている対象年齢とテーマを元にして選ぶ



設置後の様子



1/8(木)から対象年齢とテーマが表記された短冊を貼り配架

●リサイクルフェア

図書館での保管期間の過ぎた本・雑誌を無料でプレゼントする企画です。

開催期間 2026年3月25日(水)～4月6日(月)

持ち帰り冊数 一人10冊まで(4月1日(水)以降は無制限)

リサイクルフェアの対象となる本

- ・廃棄対象となる本で2025年2月までに廃棄申請を提出した本・雑誌
- ・寄贈として送付されてきたが受入対象とならなかった本
- ・2024年度リサイクルフェアの残りの本・雑誌

合計約1,800冊

今年度は、初日が平日だったため、整理券の配布はしませんでした。しかし、開館前から行列になり、駐車場は満車の状態がしばらく続くほど朝から多くの方に来場していただきました。

毎年すぐに無くなる人気の雑誌には、今年度から持ち帰り冊数の制限を設けたことで、たくさんの方に持ち帰ってもらうことができたのではないかと推測します。

アンケートにより来場者数および持ち帰り冊数を記録していますが、来場者全員に記入してもらうことはできないため、以下の数字は概数となっています。

【集計結果】

開催日数	来場者数	持ち帰り冊数
11日	263人	1,403冊



リサイクルフェア初日の会場の様子

【非来館者事業】

直接来館をしなくても、図書館の本を利用できるよう事業を継続して行っています。

受け取り場所（ステーション）は、荻原公民館、健康ふれあい会館、日進公民館、移動図書館川添、移動図書館日進の5か所あり、Web予約でも場所を指定することができます。

◆移動図書館

川添地区・日進地区を対象に移動図書館を実施しています。詳細は次項の「移動図書館事業」をご覧ください。

◆お出かけブックン

図書館まで来館することなく、公民館窓口でも図書館の本が受け取れるように、定期的に司書が巡回しています。個人利用者から依頼のあった予約本の配送、返却本の回収、予約用紙の受け取りとともに、各施設に貸し出す団体貸出の本も配送しています。

巡回日 毎週水曜日午後

※実績数は、「非来館者の貸出方法の内訳」をご参照ください。

◆施設向け団体貸出

要望のあった町内の施設に司書が選んだ本を定期的に貸出しています。

配送を希望する施設には、お出かけブックンで配送しています。

◆出張おはなし会

要望のあった町内施設等に司書が読み聞かせに出かけます。

●町内保育園・小中学校向け団体貸出

保育園 選書 保育園セット 13 セット（1セット 50 冊）事前準備

入替 月 1 回

その他の要望対応 毎月 20～25 冊程度 要望に応じて司書が選書

小学校 選書 各校毎月 20 冊（6～7 クラス分）を選書

入替 年 9 回

その他の要望対応 「伝言板」としてリクエストを記入してもらう用紙あり
授業等やブックトーク等で必要な分は別で必要数を準備

中学校 選書 要望のあった学校・クラスに 10～20 冊を選書

入替 年 9 回

その他の要望対応 授業等やブックトーク等で必要数を準備
団体貸出に入れてほしい本のリクエストにも対応

●町内福祉施設向け団体貸出

施設利用者に施設内で読書を楽しんでもらうために行っています。本の種類や内容については利用者の状況に応じて柔軟に対応しています。

2021 年から継続しています。4 月に施設の職員と打ち合わせを行い、貸出冊数や読みたい本のジャンルを確認します。その後、月 1 回入替を行います。

図書の返却と一緒に施設職員からメモを頂くことがあります。「文字の大きさもだけど、軽くて手に取りやすい大きさが人気です」と書かれていました。本の重さが重要な要素であることを教わりました。言われてみるとカラーが多い本は、そうでない本に比べると重いです。ジャンル別では野菜作りが好評とのことでした。

施設の利用者は、自分の足で大台町立図書館へ来館できない方が多くを占めています。団体貸出を通じて町立図書館の図書を利用する機会が得られるのは、施設の職員の皆様のお力添えあってこそだと実感しています。

利用施設数 3 団体

利 用 冊 数 計 798 冊

選書 内容や冊数について施設担当者とは

打ち合わせ後 10 冊～40 冊程度を準備

入替 月 1 回



報徳診療所に設置した
図書コーナーです。

●報徳診療所向け団体貸出

受付前の待合スペースに書架を用意していただいています。外来患者が利用しています。来院者は中高年が大半なので、一般書を中心に選定しています。老眼鏡がなくても読めるような比較的活字が大きい本、眺めて楽しめる本、健康づくりに関する本が中心です。

今年度は、教育委員会へ「書架にある本を借りることができるか」と、問い合わせがありました。また、書名をメモしておいて、図書館で予約をする利用者もいらっしゃいました。

利 用 冊 数 計 240 冊

選書 内容や冊数について施設担当者とは

毎月 20 冊を準備

入替 月 1 回

●出張おはなし会

要望のあった町内施設や団体に向けて司書が読み聞かせに出かけています。

今年度は出張おはなし会をしてほしいと依頼があったため、司書2名で出向きました。図書館を知ってもらう機会ととらえ、読み聞かせの他、移動図書館の案内や行事、公民館図書室などの案内もしました。またミニ移動図書館も実施し、図書館から30冊程度持っていました。図書館の利用者カードをお持ちでない方は、その場で作成し、本も借りてもらうことができました。

日 時 2025年3月19日(木) 13:30~14:30 60分程度(読み聞かせは30分程度)

場 所 宮野集会所

依 頼 先 宮野木よう会

参加人数 11名

内 容 絵 本『王さまと九人のきょうだい』君島久子//訳 赤羽末吉//絵 岩波書店
17分

紙芝居『寿限無』きりはたじゅり//脚色・絵 くるんば 15分

図書館案内(公民館図書室紹介、移動図書館紹介、ぷらっと紹介)

図書の貸し出し、新規カード作成 20分



【移動図書館】

●移動図書館

町立図書館は大台町のほぼ中心に設置されているものの、町の地域性ゆえに子どもや高齢者といった交通弱者が来館しにくい現状があります。そこで、町立図書館から遠い日進・川添地区を対象に、2022 年移動図書館の試験運行を行い、2023 年度から継続的な事業として本格運行を開始しました。

場所は安全面等を考慮し、日進地区は大台町民体育館の敷地内、川添地区は川添小学校校庭内をお借りしています。雨天時は川添地区のみ川添小学校体育館の入口で行い、猛暑により、屋外での活動が危険な 7 月～8 月を除いて運行しています。蔵書数は一般書、児童書含め約 350 冊を準備し、新規登録の場合は町立図書館で手続きをしなくても現地で申請書を記入、事前に仮登録した図書利用者カードを渡すだけで完了できるようにしています。

町民から「図書館が身近になった」「子どもと本を読む時間が増えた」といった声があったほか、今年は特に図書館が大好きな川添保育園の園児達が移動図書館をたくさん利用してくれました。川添地区は貸出人数が 200 人以上、貸出冊数も 1,000 冊超えとなったことは、驚きとともに「水曜日は移動図書館の日」と楽しみにしてくれていることが伝わります。この移動図書館を通じ、町立図書館への利用促進にもつながっています。

移動図書館は図書館という静寂なイメージから離れ、終始賑やかに本を選べるのが良い点です。保育園内からは、「移動図書館だ」と子どもの声が聞こえることもあります。子どもの本だけでなく、一般書の貸出も続いており、それだけ定着してきたことが窺えます。

対象地区 日進地区／川添地区

対 象 者 日進／川添地区の保育園児と送迎保護者及び近隣住民

実施場所 日進地区…大台町民体育館の敷地内／川添地区…川添小学校校庭内正門付近

運行日程 毎月各地区 2 回

返却方法 次の運営日（約 2 週間）、および図書館、公民館でも返却可能



日進地区の様子



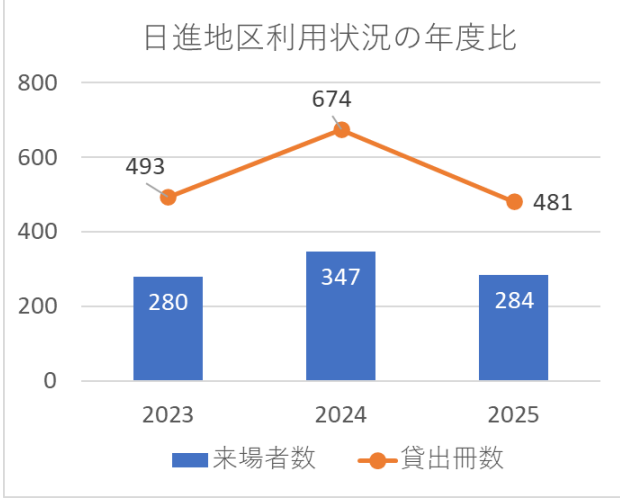
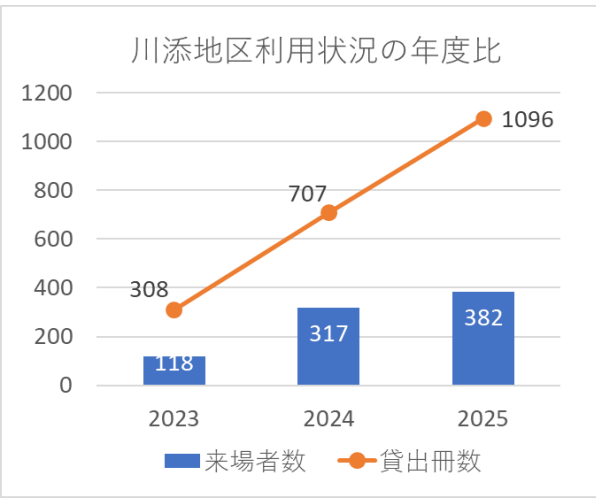
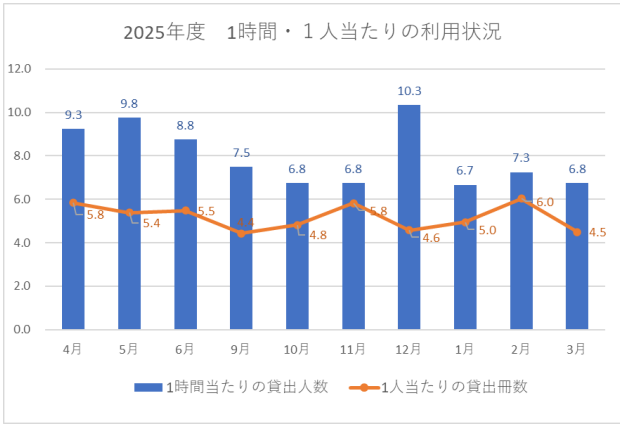
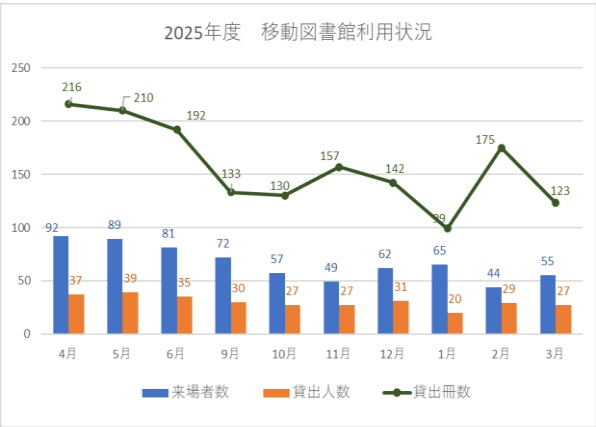
川添地区の様子

●移動図書館運行状況

月	開館 日数	来場者数	貸出人数	貸出冊数	返却冊数	新規 登録者数	リクエスト・予 約・相互貸借 申込枚数	レファ レンス	1時間当たりの 貸出人数	1人当たり の貸出冊数
4月	4	92	37	216	190	4	16	12	9.3	5.8
5月	4	89	39	210	174	2	14	7	9.8	5.4
6月	4	81	35	192	205	1	8	6	8.8	5.5
9月	4	72	30	133	98	0	13	8	7.5	4.4
10月	4	57	27	130	155	1	10	3	6.8	4.8
11月	4	49	27	157	137	0	7	1	6.8	5.8
12月	3	62	31	142	154	0	7	1	10.3	4.6
1月	3	65	20	99	106	0	3	2	6.7	5.0
2月	4	44	29	175	160	0	0	2	7.3	6.0
3月	4	55	27	123	155	0	1	2	6.8	4.6
合計	38	666	302	1577	1534	8	79	44		

(開館時間 15：30～16：30 1時間)

移動図書館1時間当たりの貸出平均人数・冊数	7.95 人	41.5 冊
-----------------------	--------	--------



●地区別利用状況

【日進地区】（大台町民体育館前）

◆利用者区分別来場者数

月	回数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計	天候	リクエスト	予約本
4月	1回目	15	4	0	0	15	34	晴	5	1
	2回目	6	7	0	0	5	18	晴	1	0
5月	3回目	3	8	0	0	1	12	晴	3	0
	4回目	8	10	0	0	5	23	晴	3	0
6月	5回目	4	9	0	0	5	18	雨	1	0
	6回目	10	6	0	0	6	22	雨	2	0
9月	7回目	8	5	0	0	6	19	晴	3	0
	8回目	5	6	0	0	5	16	曇	3	3
10月	9回目	7	0	0	0	4	11	晴	0	0
	10回目	2	0	0	0	3	5	雨	0	1
11月	11回目	5	0	0	0	5	10	曇	0	0
	12回目	4	0	0	0	4	8	晴	4	0
12月	13回目	2	0	0	0	2	4	晴	0	0
	14回目	6	0	0	0	4	10	雨	0	0
1月	15回目	4	0	0	0	5	9	晴	0	0
	16回目	30	0	0	0	4	34	晴	1	0
2月	17回目	5	0	0	0	5	10	雨	0	0
3月	18回目	7	1	0	0	5	13	晴	0	1
	19回目	4	0	0	0	4	8	雨	0	0
合 計		135	56	0	0	93	284		26	6

◆貸出・返却状況

月	回数	貸出人数	貸出冊数	返却冊数	1人当たりの貸出冊数
4月	1回目	11	59	60	5.36
	2回目	4	35	15	8.75
5月	3回目	2	19	16	9.50
	4回目	6	54	32	9.00
6月	5回目	5	18	35	3.60
	6回目	7	44	34	6.29
9月	7回目	5	26	8	5.20
	8回目	5	16	17	3.20
10月	9回目	3	18	14	6.00
	10回目	2	3	17	1.50
11月	11回目	4	23	27	5.75
	12回目	4	30	9	7.50
12月	13回目	2	7	11	3.50
	14回目	4	20	6	5.00
1月	15回目	5	23	39	4.60
	16回目	3	16	22	5.33
2月	17回目	4	28	20	7.00
3月	18回目	5	20	34	4.00
	19回目	3	22	30	7.33
合 計		84	481	446	5.73

◆新規登録者数（再発行は含まず）

月	回数	新規登録者数	貸出新規者割合
4月	1回目	2	18%
	2回目	1	25%
5月	3回目	1	50%
	4回目	0	0%
6月	5回目	0	0%
	6回目	0	0%
9月	7回目	0	0%
	8回目	0	0%
10月	9回目	1	33%
	10回目	0	0%
11月	11回目	0	0%
	12回目	0	0%
12月	13回目	0	0%
	14回目	0	0%
1月	15回目	0	0%
	16回目	0	0%
2月	17回目	0	0%
3月	18回目	0	0%
	19回目	0	0%
合 計		5	6%

※貸出新規者割合…全体の利用者のうち

新規利用者の割合

【川添地区】（川添小学校校庭）

◆利用者区分別来場者数

月	回数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計	天候	リクエスト	予約本
4月	1回目	10	1	0	0	8	19	曇雨	6	1
	2回目	11	0	0	0	10	21	晴	2	0
5月	3回目	12	5	0	0	13	30	晴	3	0
	4回目	13	1	0	0	10	24	曇	5	0
6月	5回目	11	2	0	0	9	22	晴	2	0
	6回目	10	0	0	0	9	19	晴	3	0
9月	7回目	11	0	0	0	5	16	曇	2	0
	8回目	11	0	0	0	10	21	晴	2	0
10月	9回目	13	1	0	0	9	23	曇	1	2
	10回目	11	0	0	0	7	18	雨	6	0
11月	11回目	9	0	0	0	6	15	雨	0	0
	12回目	9	0	0	0	7	16	晴	2	1
12月	13回目	11	4	0	0	12	27	曇	5	2
	14回目	9	2	0	0	10	21	曇	0	0
1月	15回目	13	1	0	0	8	22	晴	1	1
2月	16回目	10	0	0	0	9	19	晴	0	0
	17回目	9	0	0	0	6	15	晴	0	0
3月	18回目	10	0	0	0	8	18	曇	0	0
	19回目	9	0	0	0	7	16	雨	0	0
合 計		202	17	0	0	163	382		40	7

◆貸出・返却状況

月	回数	貸出人数	貸出冊数	返却冊数	1人当たりの貸出冊数
4月	1回目	12	70	63	5.83
	2回目	10	52	52	5.20
5月	3回目	15	60	53	4.00
	4回目	16	77	73	4.81
6月	5回目	11	72	71	6.55
	6回目	12	58	65	4.83
9月	7回目	9	39	16	4.33
	8回目	11	52	57	4.73
10月	9回目	11	59	63	5.36
	10回目	11	50	61	4.55
11月	11回目	8	38	36	4.75
	12回目	11	66	65	6.00
12月	13回目	13	68	74	5.23
	14回目	12	47	63	3.92
1月	15回目	12	60	45	5.00
2月	16回目	11	63	64	5.73
	17回目	14	84	76	0.00
3月	18回目	12	42	44	3.50
	19回目	7	39	47	5.57
合 計		218	1096	1088	5.03

◆新規登録者数（再発行は含まず）

月	回数	新規登録者数	貸出新規者割合
4月	1回目	1	8%
	2回目	0	0%
5月	3回目	0	0%
	4回目	0	0%
6月	5回目	0	0%
	6回目	0	0%
9月	7回目	0	0%
	8回目	0	0%
10月	9回目	0	0%
	10回目	0	0%
11月	11回目	0	0%
	12回目	0	0%
12月	13回目	1	8%
	14回目	0	0%
1月	15回目	0	0%
2月	16回目	0	0%
	17回目	0	0%
3月	18回目	0	0%
	19回目	0	0%
合 計		2	1%

※貸出新規者割合…全体の利用者のうち

新規利用者の割合

【他機関連携事業】

◆ブックスタート

ブックスタートは、0歳児検診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。赤ちゃんの幸せを願い、行政と市民が協働する自治体の事業として、全国で行われています。

大台町では、大台町子育て支援センターが主催し、4～5ヶ月児が対象で、絵本をきっかけに親子で楽しい時間を過ごせるよう図書館司書から個別にアドバイスを行います。

絵本をきっかけにした親子の時間について話をする際に、まず家庭での様子を伺い、兄弟姉妹との関係や主に保育をされる方の生活パターンに合わせて、絵本のある暮らしについて提案しています。

今年度は、毎月開催となりました。今年度の対象者20組のうち18組に対してブックスタートを実施することができました。対象月に講話ができなかったときに、子育て支援センターが再度呼び出しをしていることが功を奏しています。

ブックスタートは、センター内の個室で一家族ずつ実施しています。一人目の赤ちゃん、上のきょうだいがいる、町外から転入されたなど、様々なご家庭の様子を伺いながら、絵本のある暮らしについて講話をします。

近年では、上のきょうだいが1歳児から保育園に通っているケースも多くなってきました。そのため、寝かしつけに本を読む習慣のあるご家庭も多くみられます。母親以外（父親や祖母）が絵本を選び、読み聞かせをしていることも多く聞かれます。既に読み聞かせを始めていて、お気に入りの絵本のタイトルを教えていただくこともよくあります。これらについては、時間の最後にセンターの先生方と、情報共有を行っています。

主 催	大台町子育て支援センター
内 容	絵本をきっかけにして、親子で楽しい時間を過ごしてもらう 絵本を2冊プレゼント
対 象	4～5ヶ月児
依頼方法	ブックスタートの講師派遣依頼を受けて司書が出張する
場 所	子育て支援センター（大台町健康ふれあい会館内）
開催日時	「のびのび相談」開催時 一組10分程度
参加組数	18組

◆川添保育園との交流

お出かけブックンでの歓迎ぶり、移動図書館の利用状況、また、休日に家族そろっての来館と、図書館への興味関心は尽きることがありません。

2年目となった交流の様子をまとめました。

月日（曜日）	内容	備考
6月25日（水）	5歳児来館 もりっこ号の見学 川の生き物、釣りの本を調べる おみこしの本を探す 好きな本を見る・借りる（写真①）	園児：9名 職員：3名
7月23日（水）	4.5歳児来館 好きな本を見る・借りる	園児：17名 職員：2名
7月30日（水）	司書が訪問 5歳児が製作したもりっこ号の おみこしを図書館へ展示するため借受	司書1名 もりっこ号で訪問し おみこしのもりっこ号を 積む
11月27日（木）	司書が訪問 おたのしみ発表会の総練習へお誘いを 受ける 劇あそびを観賞	司書：5名
2月18日（水）	3～5歳児来館 5歳児が七福神に扮して図書館の 幸せを祈願（写真②） 好きな本を見る・借りる 多目的ルームのランチタイム利用 （園から給食が届く） 七福神のお面を階段壁面に展示	園児：19名 職員：4名 10:06 JR川添駅 乗車 10:19 JR三瀬谷駅 着 図書館まで徒歩
3月26日（木）	司書が訪問 すみれ組図書館を視察	司書：5名 教育委員会指導主事



① 6/25 5歳児来館
受付で本を借りる



②2/18 七福神のご挨拶風景

【広報活動】

◆図書館だより

毎月図書館だよりを発行しています。開館予定、行事のお知らせ、イベントの様子などの図書館に関する情報と毎月のテーマコーナー本や新着本などの本紹介を行っています。図書館以外に、お出かけブックンの際、各公民館図書室や各施設に配布しています。



発行 毎月1日

通算 142号 (2026年3月)

発行部数 約250部

◆図書館だより YA版

※YA（ヤングアダルト）とは、10代の若者を指します

読書離れが進んでいると言われている10代の図書館利用を促進し、読書推進につなげるために図書館だよりを2018年より発行しています。図書館の利用案内や活用法をはじめ、10代におすすめ本の紹介などを掲載しています。また、YA世代を対象としたPOP大賞の募集やその結果発表、YA世代対象行事のおしらせなどにも活用しています。町立図書館で配布のほか、町内小中学校、昂学園高等学校図書室でも配布しています。



発行 年4回

発行部数 約1040部

(春 約260部

夏 約260部

秋 約260部

冬 約260部)

◆ホームページ（【Web サービス】参照）

◆X（【Web サービス】参照）

◆Instagram（【Web サービス】参照）

◆広報おおい

「広報おおい」に図書館のコーナーがあります。図書館が情報発信する媒体として各戸配布される唯一の存在です。行事のお知らせだけでなく、図書館を利用したことがない町民の方にも図書館とはどんなところか知ってもらう場として活用しています。

◆行政チャンネル おーちゃん「図書館だより」

司会者とともに月替わりで司書が出演し、図書館のおすすめ本や行事、図書館の利用案内をしています。

◆行政チャンネル 文字放送

行政チャンネルの文字放送で休館や行事のお知らせをしています。

◆ポスター・チラシ

行事や新しい事業のお知らせは、ポスターとチラシを基本としています。図書館だよりの配布時や各施設等にも掲示してもらっています。



◆回覧板

チラシやポスターの周知効果をより高めるために回覧板を活用し、インターネットなどで情報収集しない方や普段図書館を利用されない方への情報発信としています。

◆役場ロビーにブックトラック

町民の来庁が多い役場本庁 1 階ロビーに図書館宣伝コーナーを設置しています。広く図書館の存在をアピールし、来館者の増加を目的としています。

各種お知らせの他に図書館の本も置いています。この本も利用者が図書館で手続きをすれば借りることができます。

◆おおいナビ

大台町の行政情報が見られるアプリに、図書館情報のコーナーができました。行事や図書館だよりをはじめ、図書館からのお知らせを掲載しています。

【施設支援事業】

お出かけブックンの配送に留まらず、町内施設にある図書室の読書環境向上のために、支援を行っています。

◆町内小・中学校の図書室支援

司書が各学校図書室の支援を行っています。

週 1 回程度であるため支援には限界がありますが、各校にあった支援を続けています。図書委員会が行っている活動の支援や、司書独自で企画して本紹介や図書室クイズなども実施しています。それぞれの学校で取り組む内容は違いますが、どの学校も話しやすい人間関係、来やすい図書室づくりを意識して支援にあたっています。読み聞かせやブックトークといったクラス全体を対象にした依頼も多いですが、個々の読書意欲、安心して過ごせる場所づくりも大切にしています。

訪問日数 小学校週 1 日半 中学校週 1 日

支援内容 カウンター業務（貸出・返却、レファレンス）

図書室整備（背ラベル貼り換え、掲示物作成）

資料整備（選書、受入、廃棄、本の修理、館内清掃、書架整理）

読書推進（本紹介、テーマコーナー、図書だより作成、読書推進企画）

授業サポート（図書館資料提供、ブックトーク・読み聞かせ）

そ の 他 教室への支援として団体貸出を実施

図書室年間報告等作成



日進小学校

読書推進企画

「図書みくじ」の様子

◆学校図書館担当者会議への出席（年 3 回）

今年度より大台町教育委員会事務局子ども教育課主導による、図書館担当者会議が開催され、これに各学校の図書担当と司書が出席しました。

この会議では、より学校側との連携を深めるため、図書館側がどんな支援を行っているか、各学校がどんな取り組みを行っているか、授業で図書室を活用する方法など話し合いました。

第 1 回 4 月 担当者会議（2025 年度支援計画の確認・打合せ）

第 2 回 8 月 図書館整備の実技講習、ポプラディア活用方法

第 3 回 2 月 担当者会議（2025 年度活動報告）

【その他】

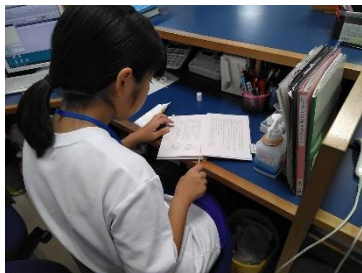
◆職業体験・インターンシップの受入

教育機関から職業体験やインターンシップの受け入れをしています。

今年度は、9月に大宮中学校から1名2日間、大台中学校から3名2日間、12月に昂学園高等学校から2名3日間の日程で受入をしました。

体験してもらう内容は曜日によって業務が変わります。火曜日は、学校図書館に1日司書の補助として業務に行きます。水曜日は、お出かけブックンで町内をめぐり、公民館図書室の本の入替えや本の配送業務に携わりました。木曜日は、定期行事「びよびよおはなし会」で読み聞かせやあそびの手伝いをしてもらいました。金曜日は、館内業務が中心です。本の貸出返却、雑誌の受け入れ、本の配架、本の修理などを行いました。

【大宮中学校】



本の修理の様子

【大台中学校】



雑誌の受け入れの様子



公民館図書室での
本の入れ替えの様子

【昂学園高等学校】



びよびよおはなし会の様子



書架整理の説明を受ける

◆図書館設備・図書館システム

設備の不具合を減らしスムーズな図書館運営を行うための設備の定期的な更新や交換、利用者の要望に応えるための備品を整備しています。

- ・ 2階学習コーナーコンセント交換・増設（2か所）

床下コンセントが破損していたため交換し、新たにもう1か所増設しました。

- ・ 多目的トイレ交換（1台）

老朽化のため便座を交換しました。

- ・ DVDプレイヤー（1台）

映画鑑賞会中の不具合をなくすために再生専用のプレイヤーを購入しました。

- ・ 熱中症指数計（1台）

外での行事や移動図書館などで熱中症になる危険性があるため、職員や利用者に対して注意喚起ができるようにしました。

次年度以降に改善策の検討

- ・ Wi-Fi 設備の不具合によりつながりにくくなっている
- ・ 階段の照明が暗い
- ・ 昇降機が正常に動かない時がある
- ・ 2階学習コーナーのエアコンから異音がする
- ・ 絵本コーナー本棚破損（簡易の応急処置済み）

3. 状況報告

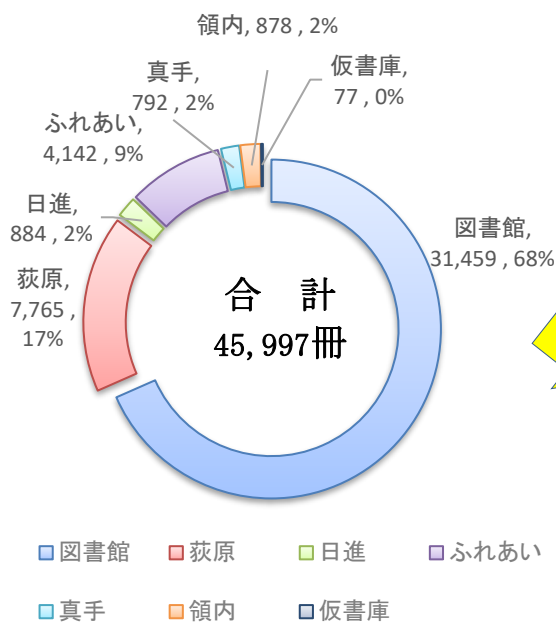
【資料所蔵状況】（令和8年3月31日現在）

●所蔵館別の蔵書冊数

※各公民館にあるデータ未登録資料は含まず

	図書館	荻原	日進	ふれあい	真手	領内	仮書庫	合計
図書一般	17,979	4,800	487	2,914	408	287	77	26,952
図書児童	12,665	2,965	347	1,176	384	591	0	18,128
雑誌	815	0	50	52	0	0	0	917
合計（冊）	31,459	7,765	884	4,142	792	878	77	45,997

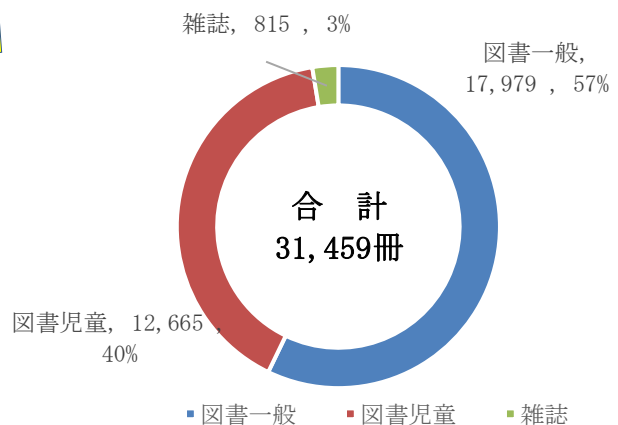
所蔵館別蔵書冊数（冊）



《所蔵館略称名》

図書館 <大台町立図書館
 荻原 <荻原公民館
 日進 <日進公民館
 ふれあい <健康ふれあい会館
 真手 <真手地域総合センター
 領内 <領内地域防災コミュニティーセンター
 仮書庫 <荻原出張所内仮書庫

大台町立図書館の資料区分構成



●資料の増減

※未登録資料は含まず

図書・雑誌	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
購入図書資料(冊)	2,027	1,190	1,743	1,490	1,514
購入雑誌資料(冊)	331	341	334	331	324
寄付・寄贈(冊)	13	47	54	45	63
除籍等(冊)	-1,719	-1,528	-1,627	-1,884	-1,486
所蔵・分類変更分(冊)	23	8	-11	145	60
年度末蔵書数(冊)	44,844	44,902	45,395	45,522	45,997

5. 課題と対策

【前年度に挙げた課題と対策】

令和6年度図書館年報には、現状の課題と課題解決を行うための対策について記載しました。令和7年度はその対策を踏まえて活動をしました。

●令和6年度に挙げた課題と対策、令和7年度の実施状況

《広報》

課題

- ・広報のあり方全体の見直しの必要性
- ・ターゲット層にあった手段の選択
- ・図書館を利用しない人に向けての図書館サービス、資料、行事などの情報発信

対策

- ・SNS（Instagram）の利用開始
- ・図書館の利用に関するアンケート調査の実施

実施状況

SNSのX（旧Twitter）2019年5月から開始していましたが、より幅広い年代が利用しているInstagramも2025年5月から始めました。行事や移動図書館の案内を中心に発信しています。Xと比較するとInstagramは地元の方がフォローしてくれているようで、情報を届けたい相手には伝わりやすい手段となっています。今後はより閲覧数を増やすために、日常的に投稿を行っていく必要があります。

アンケート調査は参加者の多い行事で行いました。図書館利用頻度や行事の感想、今後の行事内容希望などを確認しました。

《行事》

課題

- ・興味関心が低い行事の見直し
- ・各おはなし会への参加者を増やす
- ・中高生との関わりを増やす

対策

- ・他図書館の活動情報を積極的に収集する
- ・参加者が比較的多い、外部講師の行事を中心に行う
- ・中高生をターゲットにした行事は、学校の授業でも行う本紹介を「POP大賞」として開催
- ・保育園へ出張おはなし会実施
- ・中高生による図書館サポーターの検討

実施状況

「POP 大賞」は、目標にしていた 30 作品を上回る応募数がありました。これは学校の授業に関係がある内容にしたため、先生方の協力が得られた結果です。高校生の応募もあったものの、作品募集していることを知らない人が大多数だったと思いますので、次年度は高校生に向けての告知に力を入れる必要があります。

保育園等への出張おはなし会ができなかったので、来年度は一つの事業として図書館が出向くことを周知します。

《資料》

課題

- ・保管すべき資料の書庫不足
- ・利用者の高齢化
- ・多様な形態の資料収集が不十分
- ・視聴覚ブースがない

対策

- ・大台町内に臨時の書庫スペースを確保
- ・的確な資料廃棄
- ・要望の高い新聞・雑誌・視聴覚資料の充実
- ・児童の学習用資料、大活字本はあらかじめ予算を分けて選書する
- ・視聴覚ブースの整備

実施状況

仮書庫を前年度に準備し、2025 年度から書庫として活用を始めました。今のところ、仮書庫に置く資料は、旧領内図書室にあった資料が中心です。未登録資料もたくさんあり、少しずつ登録を済ませてから仮書庫で保管しています。現段階では仮書庫置きの資料は WebOPAC（蔵書検索システム）上では確認できない資料ですが、準備が整い次第公開できるようにします。

要望の高かった「伊勢新聞」の定期購読が 4 月から始まりました。

視聴覚ブースの準備が進まず次年度に持ち越します。

《利用状況》

課題

- ・大台町民の有効登録件数が全住民の 1 割未満

対策

- ・家族で来館したくなる行事の企画

実施状況

図書館の実利用者の 5 年間の推移を見ると (p.45 参照)、60 歳以上のシニア世代が年々増加しています。その年代が多い地域ではありますが、少しずつ、シニア向けの資料や行事が認知されてきたことも利用促進の良い要因の一つになっていると考えられます。

人口比から見た登録数は相変わらず伸びてはいませんので、より利用しやすい環境づくりが必要です。

《非来館者の利用促進》

課題

- ・ 図書館利用の地域格差がある
- ・ 交通弱者に対する対策ができていない

対策

- ・ 移動図書館の運行継続と定着
- ・ 町内の福祉施設への団体貸出の継続
- ・ 施設職員との綿密な連携

実施状況

移動図書館は、予定通り運行を継続することができ全体的に利用も伸びました。地域に出向いていく移動図書館の効果は日進地区や川添地区で確認できましたので、移動図書館事業のさらなる充実をめざし、業務全体の見直しを図りつつ今後の運営方針も検討すべき段階になりました。

今年度は実証実験段階ではありますが、デマンドタクシーの停留所として図書館が入りました。この事業が継続され使いやすい内容になれば、交通弱者の方でも図書館に来館しやすくなります。

福祉施設への団体貸出も継続して行いました。好みに合いそうな資料を選んで箱に入れるようにしました。

《通信制高等学校開校に伴う領内図書室の資料整理》

課題

- ・ 領内図書室置き図書の措置

対策

- ・ 新図書室のための書架確保
- ・ 規模縮小のため、大幅な廃棄

実施状況

新図書室が領内地域防災コミュニティセンター内にできました。1階になったこともあり、大幅な貸し出し利用増加に繋がりました。

《文化施設整備について》

課題

- ・ 既存設備の活用も含めた整備の検討

対策

- ・ 望ましい図書館についての提案
- ・ 新たに建設された他地域の図書館見学

実施状況

文化施設整備に関しては引き続き検討を行うこととなりました。

【令和 8 年度に向けての課題と対策】

現状の課題と課題解決を行うための対策について記載しました。令和 8 年度はその対策を踏まえて活動を行います。

《広報》

課題

- ・ 広報のあり方全体の見直しの必要性
- ・ ターゲット層にあった手段の選択
- ・ 図書館を利用しない人に向けての図書館サービス、資料、行事などの情報発信

対策

- ・ SNS (Instagram) の促進
- ・ 行事によっては Web 申込を併用する

《行事》

課題

- ・ 各おはなし会への参加者を増やす
- ・ 中高生との関わりを増やす
- ・ 大人も楽しめる行事を考える

対策

- ・ 他図書館の活動情報を積極的に収集する
- ・ 参加者の興味関心にあった外部講師の行事を中心に行う
- ・ 小中高生をメインターゲットとし、一般の方も参加可能な行事の開催
- ・ 保育園へ出張おはなし会実施

《資料》

課題

- ・ AV 資料の充実と設備の整備
- ・ 読書バリアフリーに対応した資料の収集
- ・ 的確な資料保管と廃棄
- ・ 郷土資料の未整理

対策

- ・ 視聴覚用設備の導入と利用促進のための周知
- ・ LL ブック、大活字、学習用資料の計画的な購入と周知
- ・ 荻原出張所の仮書庫の整備と活用
- ・ 郷土資料の目録作成・蔵書登録

《利用状況》

課題

- ・新規登録数の減少
- ・図書館外で図書館資料を認知した場合、借り方が分からず貸出につながりにくい
- ・資料の返却がしづらい
- ・公民館図書室の利用減少
- ・10代への利用促進が必要

対策

- ・出張おはなし会と移動図書館をセットとして出向けるように事業化する
- ・福祉施設との連携を強化し、団体貸出として置いた資料がその場所で簡単な手続きを済ませば個人貸出できるようルールを明確化する
- ・ブックスタートなど外部で町民と接する機会がある場合は、新規カード作成・貸出がその場でできるようにする
- ・公民館図書室の資料充実
- ・保育園、学童保育などへ利用の働きかけを行う
- ・公民館の館外返却ボックス設置の要望

《非来館者利用の促進》

課題

- ・移動手段がなく来館困難者が増えている
- ・図書館利用に地域差が大きい

対策

- ・移動図書館の継続
- ・移動図書館の新ステーションの検討（宮川・大杉谷方面）
- ・施設団体への団体貸出の継続
- ・来館困難者と図書館をつなぐ仕組みづくりの検討

図書館職員（令和 8 年 5 月現在）

館長（生涯学習課課長）	田牧慎也
館長補佐兼司書チーフ	井澤友紀
司書リーダー	扇田綾子
司書	岩田真奈
司書	稲葉梨紗
司書	瀬古実西